

ID

氏名

年齢

科名病棟

LEED療法

(自己末梢血幹細胞移植)

疾患名 悪性リンパ腫

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

スケジュール

		day-4	day-3	day-2	day-1	day 0
デキサメタゾン注・	33 mg/body	↓	↓	↓	↓	
エトポシド	500 mg/m ²	↓	↓	↓		
エンドキサン(シクロホスファミド) 60 mg/kg・		↓	↓			
ウロミテキサン(メスナ)	60 mg/kg×0.4	↓↓↓	↓↓↓			
アルケラン(メルファラン)	130 mg/m ² ・				↓	
自己末梢血幹細胞の輸注						↓

- 【注意】＊ 1日の尿量が3000 mL以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。
- ＊ エトポシドは病棟調製する。
エトポシドは溶解後結晶が析出するため、半分量ずつ調製する。
まず1日投与量の半分のエトポシドをソルデム3A 500mLに混和して120分で点滴。
点滴が終了した後に残りの半分量をソルデム3A 500mLに混和して120分で点滴する。
DEHPフリー点滴セット(フィルターなし)を使用する。
- ＊ シクロホスファミド投与時は出血性膀胱炎予防目的でメスナを点滴する。
メスナの1回投与量(mg)は、シクロホスファミド1日投与量(mg)の40%量とする。
メスナの点滴は、シクロホスファミド投与開始時、4時間後、8時間後の3回行う。
- ＊ 補液にメイロンを混注して尿をアルカリ化(pH>7.0)する。
- ＊ メルファランは希釈後、経時的に安定性が低下するため1.5時間以内に投与を終了すること。
- ＊ メルファランは投与後24時間以上あけて、移植を行うこと。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

- day -4 抗がん剤投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125mg)10を内服
- ① 生食 500mL にて血管確保・ 維持(20 mL/時間)
- ② グラニセトロン注 3mg 1筒 静注
- ③ デキサメタゾン注 33 mg (10mL) + 生食 100 mL 点滴静注 60 分 (100 mL/時間)

- | | | | |
|-------------------------------------|---|---------------|------------------------|
| ④ エトポシド 1/2量 | + | ソルデム3A 500 mL | 点滴静注 120 分 (250 mL/時間) |
| エトポシド 1/2量 | + | ソルデム3A 500 mL | 点滴静注 120 分 (250 mL/時間) |
| ⑤ エンドキサン | + | 生食 500 mL | 点滴静注 120 分 (250 mL/時間) |
| ⑥ ウロミテキサン | + | 生食 50 mL | 点滴静注 30 分 ⑤の点滴を開始した時 |
| ウロミテキサン | + | 生食 50 mL | 点滴静注 30 分 ⑤を開始した 4 時間後 |
| ウロミテキサン | + | 生食 50 mL | 点滴静注 30 分 ⑤を開始した 8 時間後 |
| ⑦ オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服 (※糖尿病患者は禁忌) | | | |

day -3

- | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------|---------------|------------------------|
| ① 生食 500mL にて血管確保・ | 維持(20 mL/時間) | | |
| ② グラニセトロン注 3mg 1筒 | 静注 | | |
| ③ デキサメタゾン注 33 mg (10mL) + 生食 100 mL | 点滴静注 60 分 (100 mL/時間) | | |
| ④ エトポシド 1/2量 | + | ソルデム3A 500 mL | 点滴静注 120 分 (250 mL/時間) |
| エトポシド 1/2量 | + | ソルデム3A 500 mL | 点滴静注 120 分 (250 mL/時間) |
| ⑤ エンドキサン | + | 生食 500 mL | 点滴静注 120 分 (250 mL/時間) |
| ⑥ ウロミテキサン | + | 生食 50 mL | 点滴静注 30 分 ⑤の点滴を開始した時 |
| ウロミテキサン | + | 生食 50 mL | 点滴静注 30 分 ⑤を開始した 4 時間後 |
| ウロミテキサン | + | 生食 50 mL | 点滴静注 30 分 ⑤を開始した 8 時間後 |

day -3, -2 アプレピタントカプセル(80mg) 1C 1×朝 内服

day -3~-1 オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服 (※糖尿病患者は禁忌)

day -2

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------|
| ① 生食 500mL にて血管確保・ | 維持(20 mL/時間) |
| ② グラニセトロン注 3mg 1筒 | 静注 |
| ③ デキサメタゾン注 33 mg (10mL) + 生食 100 mL | 点滴静注 60 分 (100 mL/時間) |

LEED療法

- ④ エトポシド 1/2量 + ソルデム3A 500 mL 点滴静注 120 分 (250 mL/時間)
 エトポシド 1/2量 + ソルデム3A 500 mL 点滴静注 120 分 (250 mL/時間)

day -1

- ① 生食 500mL にて血管確保・ 維持(20 mL/時間)
 ② グラニセトロン注 3mg 1筒 静注
 ③ デキサメタゾン注 33 mg (10mL) + 生食 100 mL 点滴静注 60 分 (100 mL/時間)
 ④ アルケラン + 生食 250 mL 点滴静注 60 分 (300 mL/時間)

day 0

- ① 生食 500mL にて血管確保・ 維持(20 mL/時間)
 ② ハイドロコートン 100 mg + 生食 100 mL 点滴静注 60 分 (100 mL/時間)
 レスカルミン 1A ゆっくり静注
 ③ 末梢血幹細胞の輸注

	Day-4	Day-3	Day-2	Day-1	Day0
月 日	/	/	/	/	/
デキサメタゾン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	
エトポシド 開始時刻(1回目) 開始時刻(2回目)	↓	↓	↓		
エンドキサン 開始時刻	↓	↓			
ウロミテキサン 開始時刻(1回目) 開始時刻(2回目) 開始時刻(3回目)	↓	↓			
アルケラン 開始時刻				↓	
末梢血幹細胞輸注 開始時刻					↓
確認					

* 投与開始時刻の記載を宜しくお願いします。

特に、アルケラン開始時刻は正確な時刻を宜しくお願いします。